



クリスマスローズ  
(中庭)

# つながい

自ら動き、感じ、楽しむ ~笑顔あふれる幼稚園~  
~やさしく かしこく たくましく~

第 11 号  
令和5年3月7日発行  
山口大学教育学部附属幼稚園

## 「ありがとう」の気持ち

副園長 大森 洋子

3月1日〔水〕は、お別れ遠足でした。風組と星組は、「思い出の道や遊び場を経由していこう」ということで春日山公園やSLを経て、世界の森公園を目指しました。飼育の引き継ぎを通してより親しくなり、同じ「農場」を体験した風組さんと星組さんは、幼稚園で一番大きい学年を譲る者と次に続く者としての自覚があるようで、手を繋いで一緒に歩く姿からも親近感や好意が感じられました。もうすぐ風組に進級する花組さんは、「自分たちで行く」ということを目標に歩き、世界の森公園で風組や星組と合流しました。

世界の森公園は、秋に行ったときには草むらや虫、木の実などがいっぱいでしたが、今回は広場の地面がしっかり見え、走ったり、鬼ごっこやかくれんぼ、花いちもんめなどをしたり、木や石や実を集めて遊んだりしました。あちこちで異年齢で関わる姿や、友達と頭を寄せ合ったり群れたりして遊ぶ姿が見られ、関わりの広がりや深まりをつくづく感じました。みんな大きくなりましたね。



お天気が心配でしたが、雨雲レーダーを見ると昼食を食べても大丈夫そうだったので、亀山公園山頂へみんなで移動しました。今度は、花組さんも星組さんと手をつないで行きました。(帰路もつながりました)

山頂公園では、大きい輪になって昼食を摂り、おやつのおにぎりせんべいを食べました。楽しそうに会話しながらおせんべいを食べる姿や、花組さんの敷物を星組さんが畳んであげる姿もありました。

その後は、広場で思い切り走ったり、周回コースを何周も回ったり、散策や景色を楽しんだりしました。



園に戻ると、星組さんは、花組さんや風組さんから、「ありがとう」と言われて照れたり喜んだり、花組や風組に、「どういたしまして、頑張ったね」などと声をかけたりしていました。また、各クラスではそれぞれ感想を聞いたようですが、花組や風組では、「星組さんと遠足に行けて楽しかった」「星組さんと手をつないだのがうれしかった」「一緒にお弁当を食べてうれしかった」などの声たくさんあがったそうです。その年齢なりに「お別れ」の意味を捉えていて、星組さんたちの優しさを感じたり、感謝したりしていることが伝わりました。あちこちで「ありがとう」の気持ちがたくさん溢れた素敵な一日でした。

♥星組2担任の松村佳枝教諭が結婚しました。新姓は出羽(いずは)ですが、呼称等は松村のままをお願いします。